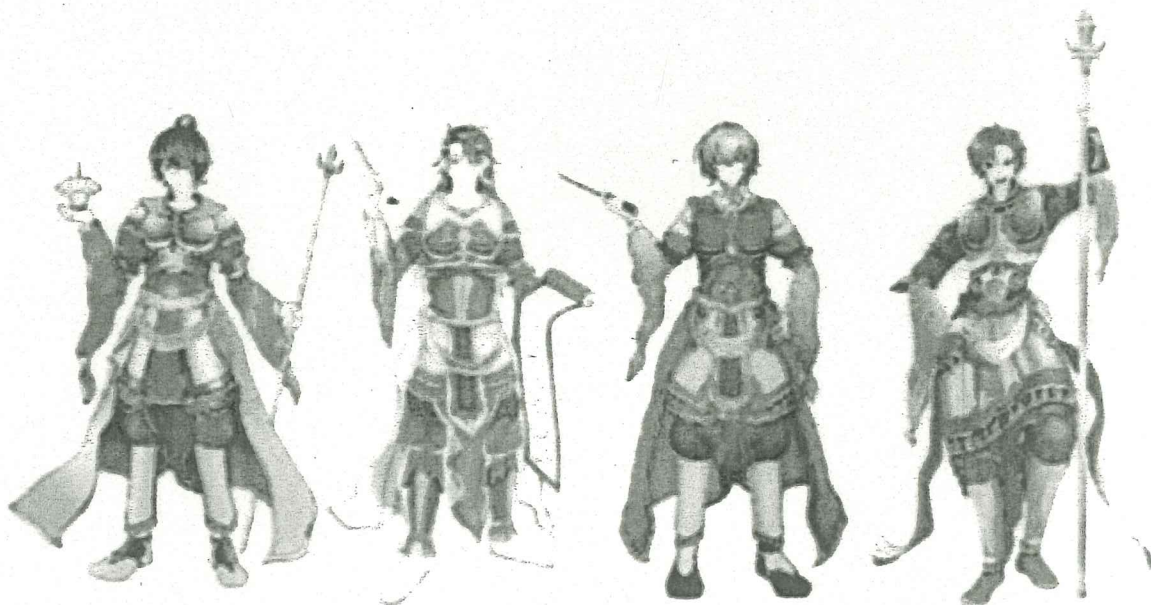


# 高校生考案 四天王像キャラ

## 大立山まつりPR



大立山をモチーフにした（右から）増長天、持国天、広目天、多聞天のキャラクター―奈良女子高校提供

奈良市の平城宮跡歴史公園で27、28両日に開かれる「奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」（大立山まつり）をPRしようと、シンボルの四天王像「大立山」（高さ7m）をモチーフにしたキャラクターを、奈良女子高校の生徒が考案した。関連行

事のデジタルスタンプラリーの画面に現れる。

例年、大立山4基はまつり会場に登場するが、今年は県庁や県橿原文化会館（橿原市）など県内4か所に1基ずつ設置。設置場所や世界遺産の社寺などを巡るデジタルスタンプラリーをまつり前後の約2か月間企画している。

スタンプラリーを担当する企業が、画面を彩るキャラクターの作成を同校に依頼。アニメーション部の8人が中心になり、大立山の表情やポーズを再現し、現代風に仕上げた。増長天を描いた2年森嶋和奏さん（17）は

「怒った表情を和らげて描いた。若い人にもまつりに親しんでほしい」と話す。スタンプラリーにはスマートフォンアプリ「COCORAR」で参加。指定20地点のうち3地点以上を巡ると、抽選で景品が当たる。2月25日まで。問い合わせは、まつり実行委員会（0742・27・8974）。